News Release

エン株式会社
2026年11月16日発表
No.4338

こども家庭庁、エンの『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』で「総合職」（幹部候補）と「一般職」を公募。

一般職は、民間サービスを通じた公募は初。
2025年度の「総合職」公募では民間出身者含む4名の採用が決定。うち2名のコメントも紹介。

エン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：越智通勝）は、2026年11月16日（月）より、こども家庭庁の『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』（https://www.enjapan.com/）を開始しました。当社が運営する採用支援サービスを通じ、幹部候補となる「総合職」「一般職」を公募します。下記本プロジェクト概要と採用担当者コメント、2025年度の「総合職」公募で採用決定した方のうち2名のコメントを紹介します。



募集詳細・特設ページはこちら　https://www.enjapan.com/project/cfa_2611/

プロジェクト概要

「こどもまんなか社会の実現」を使命に、こども政策の企画立案や子育て支援などを担うこども家庭庁。児童手当の拡充や高等教育費の無償化といった仕組みづくりに加え、「こども誰でも通園制度」の全国実施や、こどもが安全・安心に利用できるインターネット環境の整備など、多様な取り組みを推進しています。

「現場主義」や「多様性を力に」などをバリューとして掲げる中、前例にとらわれない政策を実現するため、同庁が注力してきたのが民間出身者の採用です。これまで行政、民間企業、福祉・教育現場など多様な分野で経験を積んだ人材を採用し、組織に新たな視点を取り入れてきました。こうした動きを強化すべく、今年度も、エン協力のもと民間から広く人材を募ります。今回は「総合職」に加え、「一般職」も民間サービス初となる公募を実施。庁内で活躍する民間出身者に続き、多様なバックグラウンドを有する人材を採用することで、組織に変革を起こす狙いです。

将来的に幹部としての活躍が期待される「総合職」は、政策の企画・立案や庁内外との調整を担い、「一般職」は政策の実施や行政運営を支える中核的な役割として、事業運営や予算、総務・会計などに関わる庁内業務や各種事業の運用を行なうポジションです。いずれも入庁後は、こども政策全体の司令塔である長官官房をはじめ、保育政策などを担う成育局、児童虐待防止などを担う支援局など、庁内のいずれかの部局に本人の適性や希望を踏まえて配属予定。その後は、庁内での定期的なジョブローテーションや庁外への出向などを通じて、幅広いプロジェクトに挑戦しながらキャリアを積むことができます。

今回の公募では、多様な人材を募るべく、一般的な国家公務員試験で課される教養試験や専門試験といった筆記試験は免除。庁独自の選考として、面接や小論文を用いて一般企業に近い形で選考を実施します。エンは『エン転職』『アンビ（AMBI）』といった求人サービスを通じて募集をサポート。人材の採用からその後の活躍・定着まで一貫して支援します。培ってきた経験を活かし、「こどもまんなか社会」の実現に挑む、志ある方からのご応募をお待ちしています。

©en Inc.

採用担当者　コメント

少子化、人口減少が深刻化し、こどもを取り巻く状況が複雑さを増す中、一人ひとりのこどものウェルビーイングを高め、社会の持続的発展を確保するという強い危機感のもと、こども家庭庁は生まれました。

まだまだ若い省庁ですが、少子化という国家的課題に立ち向かい、次世代を担うこども・若者の育ちを支えるために、数々の政策課題に正面から取り組むことが求められています。

こどもや若者は一人ひとり多様な状況・価値観を持ち、またこども政策の推進には様々な関係者との協働が不可欠です。我々職員も、多様なバックグラウンドを持つ組織でなくてはなりません。

こうした考えのもと、昨年実施した総合職の公募では多数のご応募をいただき、豊富な知識や経験を有する4名を採用することができました。採用した方々は、これまで培ってきた職務経験や新しい視点を生かして、こども行政の場で活躍しています。

ぜひこの若いこども家庭庁をわたしたちと一緒に作り上げていきませんか。民間企業や民間団体、公的機関での実務経験やマネジメント経験を活かし、「こどもたちの育ちに貢献したい」「次の世代の未来を切り開いていきたい」という思いをお持ちの方のご応募をお待ちしています。

募集要項

- **応募職種**　「総合職（課長補佐級・係長級）」「一般職（課長補佐級・係長級）」
- **応募受付サイト**　『エン転職』『アンビ（AMBI）』
- **掲載期間**　2026年11月16日（月）～12月11日（金）
- **特設ページ**　https://www.enjapan.com/project/cfa_2611/

2025年度「総合職」採用決定者　コメント

＜1人目＞
■前職：ベンチャー企業にて、リサーチャー業務（クライアント折衝・有識者選定）を担当

応募の最初のきっかけは、SNSでこども家庭庁の採用広告を見かけたことです。当初は中途採用の存在を認識していませんでしたが、こども家庭庁の取組について調べる中で「こどもまんなか社会」という理念に強く惹かれました。こうした中で、学生時代や前々職で携わっていたこども・子育て領域に改めて本気で向き合いたいという思いが強まり、「ここで挑戦しなければ後悔する」と感じ、応募を決意しました。

また、こども家庭庁は2023年に発足した新しい行政機関であり、これからの組織づくりにも携わることができる点や、面接・小論文中心の選考で、働きながらでも挑戦しやすい点にも魅力を感じました。

入庁後は、こどもや若者の意見聴取・政策への反映に尽力し、こどもたち自身が自分の声に価値を感じられる社会の実現に貢献していきたいと考えています。

©en Inc.

<2人目>
■前職：広域自治体にて福祉施策、民間企業にて新規事業企画等を担当

これまでのキャリアにおいて、特別支援教育や障害児福祉に携わる中で、こどもを取り巻く環境の整備や政策的支援の重要性を実感してきました。

そうした経験を踏まえ、残りの社会人としてのキャリアを考えた時に、我が子に限らず、これから生まれてくるこどもたちも含め、誰もが健やかに育つことができる社会の実現に貢献したいという思いが一層強まりました。家族とも話し合いを重ね、自らに務まるのかという不安もありましたが、それでもなお挑戦したいと考え、こども家庭庁を志望しました。

こども政策の実現には、こども家庭庁だけでなく、関係省庁や自治体、民間事業者、教育機関など多様な主体との連携が不可欠であると認識しています。

今後は、こうした関係者との協働のために汗をかき、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、一人ひとりに寄り添った支援が継続して提供される環境づくりに尽力していきたいと考えています。

本プロジェクトにおける当社支援サービス

プレスリリースや特設ページ、Web広告での告知に加え、各求人サイトでの集客支援を実施。『エン転職』『アンビ（AMBI）』とターゲットの異なる求人サイトを活用することで、ターゲットへ網羅的に求人を届けます。



News Release

エン株式会社
2026年11月16日発表
No.4338

「ソーシャルインパクト採用プロジェクト」とは



社会的インパクトが特に大きい人材採用「ソーシャルインパクト採用」を、エンが全社を挙げて支援するプロジェクトです。中央省庁の幹部候補、自治体の副市長やDX担当、さらにはNGO／NPO・スポーツ団体・志ある企業の中核メンバー等、さまざまな募集を「入職後の活躍」までこだわって支援しています。優れた能力を「より良い世の中を作るため」に使いたい方と、より良い世の中を作るために優れた人材の力を必要とする団体を結び、社会の課題解決を加速させていくプロジェクトです。

プロジェクト公式サイトはこちら　▶　https://www.enjapan.com/

プロジェクト参画のご相談、取材・セミナーの登壇依頼などお気軽にお問合せください。
MAIL：social_impact@en-japan.com

プロジェクト経由入職者の活躍に迫るYouTube番組『Impactors』
『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』公式YouTubeチャンネルで公開中！
https://www.youtube.com/@socialimpact_en

■第20弾



■第21弾



本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

エン株式会社 広報担当
https://corp.en-japan.com/

〒163-1335　新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
TEL：03-3342-6590　※メディア専用の窓口です。
MAIL：en-press@en-japan.com

©en Inc.